竹取物語

かぐや姫の生ひ立ち　―品詞分解―

今（係助・区別）は（昔、竹取の翁と（格助・引用）いふ（ハ四・体）者あり（ラ変・用）けり（過・終）。野山に（格助・場所）まじり（ラ四・用）て（接助・単接）竹を（格助・対象）取り（ラ四・用）つつ（接助・反復）、よろづの（格助・体修）こと（名）に（格助・目的）使ひ（ハ四・用）けり（過・終）。名をば（連語（格助・対象＋係助・強意））讃岐の造と（格助・引用）なむ（係助・強意（係））いひ（ハ四・用）ける（過・体（結））。そ（代）の（格助・体修）竹の中に（格助・場所）、もと光る竹なむ（係助・強意（係））一筋あり（ラ変・用）ける（過・体（結））。あやしがり（ラ四・用）て（接助・単接）寄り（ラ四・用）て（接助・単接）見る（マ上一・体）に（接助・単接）、筒の（格助・体修）中光り（ラ四・用）たり（存・終）。それ（代）を（格助・対象）見れ（マ上一・已）ば（接助・順偶）、三寸ばかり（副助・程度）なる（断・体）人、いと（副）うつくしう（形シク・用（ウ音））て（接助・単接）ゐ（ワ上一・用）たり（存・終）。翁、言ふ（ハ四・体）やう、「わ（代）が（格助・主格）朝ごと夕ごと（格助・時間）に見る（マ上一・体）竹の（格助・体修）中におはする（サ変・体（尊）翁→かぐや姫）に（格助・場所）、（格助・場所）にて（格助・理由）、知り（ラ四・用）ぬ（完・終）。子に（格助・変化）なり（ラ四・用）給ふ（補動・ハ四・終（尊）翁→かぐや姫）べき（当・体）人なめり（断・体（撥音）・定・終）。」とて（格助・引用）、手に（格助・場所）うち入れ（ラ下二・用）て（接助・単接）、家へ（格助・方向）持ち（タ四・用）て（接助・単接）来（カ変・用）ぬ（完・終）。妻の（格助・体修）嫗に（格助・対象）預け（カ下二・用）て（接助・単接）養は（ハ四・未）す（使・終）。うつくしき（形シク・体）こと限りなし（形ク・終）。いと（副）幼けれ（形ク・已）ば（接助・順理）、籠に（格助・場所）入れ（ラ下二・用）て（接助・単接）養ふ（ハ四・終）。

竹取の翁、竹を（格助・対象）取る（ラ四・体）に（格助・時間）、こ（代）の（格助・体修）子を（格助・対象）見つけ（カ下二・用）て（接助・単接）、のち竹に（格助・時間）取る（ラ四・体）に（接助・単接）、節を（格助・対象）隔て（タ下二・用）て（接助・単接）よごと黄金ある（ラ変・体）竹を（格助・対象）見つくる（カ下二・体）こと（格助・体修）に（格助・場所）、重なり（ラ四・用）ぬ（完・終）。かくて（接）、翁、やうやう（副）豊かに（形動ナリ・用）なりゆく（カ四・終）。こ（代）の（格助・体修）児、養ふ（ハ四・体）ほど（格助・時間）に、すくすくと（副）大きに（形動ナリ・用）

なりまさる。　三月　ばかり　に　なる　ほど　に、　よき　ほ
ラ四・終　副助・程度　格助・変化　ラ四・体　格助・時間　形ク・体
ど　なる　人　に　なり　ぬれ　ば、　髪上げ　など　する
断・体　格助・変化　ラ四・用　完・已　接助・順理　副助・例示　サ変・終
さうし　て、　髪　上げ　さ　せ、　裳　着す。　帳　の　う
サ変・用　接助・単接　ガ下二・未　使・用　裳　サ下二・終　格助・体修
ち　より　も　出ださ　ず、　いつき　養ふ。　こ　の
格助・起点　係助・同類　サ四・未　打・用　カ四・用　ハ四・終　代　格助・体修
児　の　かたち、　けうらなる　こと　世　に　なく、　屋
格助・体修　形動ナリ・体　格助・場所　形ク・用
の　うち　は　暗き　所　なく　光　満ち　たり。　翁、
格助・体修　係助・区別　形ク・体　形ク・用　タ四・用　存・終
心地　悪しく　あ　とき　も、　こ　の　子　を　見れ
形シク・用　係助・同類　代　格助・体修　格助・対象　マ上一・已
ば、　苦しき　こと　も　やみ　ぬ。　腹立たしき　こと
接助・順恒　形シク・体　係助・列挙　マ四・用　完・終　形シク・体
も　慰み　けり。
係助・列挙　マ四・用　過・終

翁、　竹　を　取る　こと　久しく　なり　ぬ。　勢ひ
格助・対象　ラ四・体　形シク・用　ラ四・用　完・終
猛　の　者　に　なり　に　けり。　こ　の　子
形動ナリ・語幹　格助・体修　格助・変化　ラ四・用　完・用　過・終　代　格助・体修
いと　大きに　なり　ぬれ　ば、　名　を、　御室戸斎部の秋田
副　形動ナリ・用　ラ四・用　完・已　接助・順理　格助・対象
を　呼び　て、　付け　さす。　秋田、　なよ竹のかぐや姫
格助・対象　バ四・用　接助・単接　カ下二・未　使・終
と　付け　つ。　こ　の　ほど　三日、　うちあげ　遊ぶ。
格助・引用　カ下二・用　完・終　代　格助・体修　ガ下二・用　バ四・終
よろづ　の　遊び　を　ぞ　し　ける。　男
格助・体修　格助・対象　係助・強意（係）　サ変・用　過・体（結）
は　うけきらは　ず　呼び集へ　て、　いと　かしこく　遊ぶ
係助・区別　ハ四・未　打・用　ハ下二・用　接助・単接　副　形ク・用　バ四・終
。　世界　の　をのこ、　あてなる　も　いやしき　も、
格助・体修　形動ナリ・体　係助・列挙　形シク・体　係助・列挙
いかで　こ　の　かぐや姫　を　得　てしがな、　見
副　代　格助・体修　格助・対象　ア下二・用　終助・自願　マ上一・用
てしがな　と、　音　に　聞き、　め　で　て　惑ふ。
終助・自願　格助・引用　格助・手段　カ四・用　ダ下二・用　接助・単接　ハ四・終